

福祉サービス第三者評価を準用した調査結果報告書(平成30年度)

2019年 2月 28日

東京都人材支援事業団 御中

〒 140-0001

所在地 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー9階

評価機関名 株式会社 川原経営総合センター

認証評価機関番号

機構 02 - 012

電話番号 03-5422-7938

代表者氏名 川原 文貴

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	新井 結花	組織	H0802032
	②	金子 晴子	福祉	H0803032
	③	日下 滋	福祉	H1601083
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	事業所内保育所(新宿区認可)			
評価対象事業所名称	とちょう保育園			
事業所連絡先	〒	163-8001		
	所在地	東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都議会議事堂1階南側		
	Tel	03-5990-5301		
事業所代表者氏名	澤田 陽子			
契約日	2018年 9月 7日			
利用者調査票配付日(実施日)	2018年 11月 26日			
利用者調査結果報告日	2019年 1月 8日			
自己評価の調査票配付日	2018年 10月 22日			
自己評価結果報告日	2019年 1月 8日			
訪問調査日	2019年 1月 11日			
評価合議日	2019年 1月 11日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査の一環として、福祉分野担当の評価者による滞在調査を実施しました。サービスの現場に一定時間滞在する中で、利用者意向の把握に努めました。 ・職員の自己評価では、オリジナルの回答シートを用意し、階層別の評点分布だけでなく、より問題点を特定しやすいように集計結果をまとめて、事業所に報告しました。			

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>保育理念 こどもを第一に、こども一人ひとりを理解し、こどもにとって最もふさわしい生活の場で温かい保育を行う</p> <p>保育方針 ・楽しく落ち着いた環境の中、多くの愛情を注ぎ、温かい保育をする ・一人ひとりを大切に、生命の保持と情緒の安定を図っていく ・保護者とこどもの成長を喜び合い、信頼関係をつくる ・地域と協働し、こどもの保育に関する相談に応じ、助言や情報提供を行っていく</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>○求めている人材像 ・保育園の社会的使命や、社会に求められているニーズを正しく認識でき、使命を理解して働くことが出来る人 ・質の高い保育（子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育）を提供するため、日々努力を惜しまず前向きに仕事に取り組むことが出来る人 ・一人ひとりの保護者の状況を把握した上で、保護者にとって必要な支援を行い、地域の資源を積極的に活用したり、地域との連携を図り、職場においては職員間の共同性を高めながら仕事に関わることのできる人</p> <p>○役割 ・社会のニーズを把握し、働く人を支援（保育の仕事を通じて）する。 ・働く人を支援するための地域連携、情報収集及び発信</p> <p>(2)職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <p>○職員に期待すること ・自己管理能力・自己研鑽能力を高め、日々の仕事に最善の状態で行き届く。 ・保育所職員としての専門性を高める努力を惜しまず、保育を行うための人としての倫理観、人間性を高めることができる。</p> <p>○職員に持ってほしい使命感 ・保育の置かれている現状を正しく把握し、仕事に対する誇りを持ち、開拓していこうとする使命感 ・福祉が充実し、発展するための下支えをする使命</p>

調査対象

調査は世帯単位で実施。回答者のうち、記入者の年齢が30歳未満3%、30歳代72%、40歳以上16%、無記入9%でした。

調査方法

調査票等は利用時に事業所経由で配布する形をとりました。回収は返信用封筒に調査票を入れ直接評価機関に郵送する方法をとり、利用者が気兼ねなく書けるよう配慮しました。

利用者総数	48
利用者家族総数(世帯)	42
共通評価項目による調査対象者数	42
共通評価項目による調査の有効回答者数	32
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	76.2

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想において、「大変満足」「満足」と回答した方が合わせて97%と非常に高い満足度が示されました。
 ・個々の質問に対し、肯定的な回答を選択した割合は、17設問中6設問が100%、9設問にて90%以上、同じく2設問で70%以上となっており、個々の取り組みについて非常に高い満足度が示されました。
 ・自由記述では22世帯から率直な意見が寄せられており、「とても子どものことを見てくれていて、ありがたいです。」「親子共々、個人個人を見て接してくれていてありがたい」など肯定的な感謝の意見が多数ありました。「保護者も参加できる行事がもう少しあるとうれしい。」「3歳児以降も園で見てほしい。」などの要望も出ています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	32	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「情緒が豊かに育っていると感じる。」「とても楽しそうに遊んでいる。」などのコメントが寄せられています。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	32	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「子どもの興味を刺激している。」「家ではできない遊びをしてきている。」などのコメントが寄せられています。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	31	1	0	0
「はい」と回答した方が97%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が3%です。「とてもよく工夫していて、レシピもいただけてうれしい。」「バランスよく作っているので栄養面でも安心している。」などのコメントが寄せられています。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	29	2	0	1
「はい」と回答した方が92%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が3%、「無回答・非該当」が3%です。「園庭が無い分、お散歩に毎日出かけてくれていてありがたい。」、「公園での様子がいつも楽しそう。」などのコメントが寄せられています。「本当なら午後も外遊びをさせたい。」等のコメントも寄せられています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	25	5	1	1
「はい」と回答した方が78%と満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が16%、「いいえ」と回答した方と「無回答・非該当」がそれぞれ3%です。「非常に助かっています。」、「当日の夕方でも対応してくれる。」などのコメントが寄せられています。「利用したことがない。」、「残業していないのでわからない。」とのコメントも寄せられています。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	32	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「子どもの視点に合わせた対策がしっかりとられている。」などのコメントが寄せられています。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	25	6	1	0
「はい」と回答した方が78%と満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が19%、「無回答・非該当」が3%です。「事前にお知らせしてくれる。」、「もっと行事があってもいいくらい。」、「行事によっては複数日から選ぶことができ配慮が行き届いている。」などのコメントが寄せられています。「休日だとよい。」、などのコメントも寄せられています。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	31	1	0	0
「はい」と回答した方が97%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が3%です。「いつも帰りに相談したり園での様子を教えてくれる。」、「いつもプロの意見として子育ての参考にしている。」などのコメントが寄せられています。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	32	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「とても清潔できれい。」、「清潔感を感じるし、夕方先生方が掃除しているのを見るので安心。」などのコメントが寄せられています。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	32	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「どの職員も丁寧で安心した気持ちになる。」などのコメントが寄せられています。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	31	1	0	0
「はい」と回答した方が97%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が3%です。「看護師がいつもの確に対応してくれる。」「少しのケガでも報告してくれる。」などのコメントが寄せられています。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	30	1	0	1
「はい」と回答した方が94%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」、「無回答・非該当」と回答した方がそれぞれ3%です。「むしろ、私がわからないので先生に教えていただいている。」「大きなトラブルにならないよう気配りしている。」などのコメントが寄せられています。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	32	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「あたたかく見守ってくれている。」などのコメントが寄せられています。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	29	1	0	2
「はい」と回答した方が91%と高い満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が3%、「無回答・非該当」は6%でした。「子どもが先生のことを話していた時、他の子どもの家庭の話しを聞いてしまった。」とのコメントも寄せられています。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	30	1	0	1
「はい」と回答した方が94%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」、「無回答・非該当」と回答した方がそれぞれ3%です。「毎日連絡帳がとても丁寧でわかりやすい。」などのコメントが寄せられています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	30	2	0	0
「はい」と回答した方が94%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が6%です。「いつもプロの意見が聞ける。」「保育内容がわかるようなカリキュラムのようなものを示してくれるとより良い。」などのコメントが寄せられています。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	30	2	0	0
「はい」と回答した方が94%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方が6%です。「問い合わせ方法まで教えてくれた。」とのコメントが寄せられています。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	設営・運営両法人がお互いの役割を共有した中で、円滑な園運営が行われています 当園は、民間事業者等における地域に開放した事業所内保育所の設置を推進し、待機児童を解消するための東京都のシンボリックな事業として始まりました。当園の基本理念は「子どもを第一に、子ども一人ひとりを理解し、子どもにとって最もふさわしい生活の場で温かい保育を行う」です。設置は都の関係団体である事業団が、運営は公募にて選定された社会福祉法人が担っています。設置・運営両法人がお互いの役割を共有した中で、円滑な園運営が行われています。 一貫性のある保育を目指し、基本理念等に関する研修を実施しています 運営法人の理事長が講師となり、基本理念・方針に関する法人内研修を定期的に開催し、一貫性のある保育を目指し取り組んでいます。子どもとの接し方は、「駆け引きをしない、強制しない、おどさない」こと、子どもの気持ちを尊重した保育を行うことを職員全体で共有しています。毎年、理事長から年度目標にもつながる課題が届けられ、今年度は「地域の子育て家庭への支援の充実に向けて」でした。固定概念に捉われず子ども主体の保育を職員が展開していくこと、保育者の資質向上も視野に入れて、方向性を明確に示しています。 園運営に関わる様々な事案は、合意形成の場を設定して検討がなされています 設置主体の事業団と運営事業者の尚徳の二者にて、週一回定例会を開催し、園運営に関わる様々な案件についての検討・決定が行われています。二者の合意形成の場を密に定期的に持っている現状は、円滑な運営につながる取り組みと推察されます。園内においては、急ぎの用件は職員周知簿への記載で共有しますが、必要な案件は月1回の職員会議にて討議し決定していきます。定例会での検討事項も含め、様々な案件の決定経緯は職員が理解できるよう職員会議等を活用して共有に努めています。	
	カテゴリ2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリ1(2-1)	

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している
 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6

評価項目1
 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している
評点(000000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリ2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる
 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5

評価項目1
 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
評点(000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
 着実な計画の実行に取り組んでいる
評点(00)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリ2の講評

様々な方法で保護者からの意見を吸い上げ、保護者との信頼関係を構築しています
 年度末にアンケートを実施し、保育内容や独自サービスについて保護者から意見をいただき、改善点の参考としています。日々の中では連絡帳を活用しており、保護者会開催後に連絡帳に感想を記載して頂いた場合は、内容はコピーをして職員間で共有しています。夕方のお迎えの時間は、多目的ホールを開放しています。帰る前に一息つけるこの場所では、保護者がかしまらずに自然に話をできることができています。様々な方法で保護者からの意見を吸い上げ、また、園として検討した結果を返していくことで、保護者との信頼関係を構築しています。

保育理念を達成すべく中長期計画から単年度計画も策定しています
 当園では事業所内保育所という特性から、働く保護者を積極的に支援するため、様々なサービスをニーズに応じて実施しています。事業主体の都、設置主体の事業団、運営主体の尚徳が一丸となり、密な連携のもと、園の保育理念を達成すべく中長期計画から単年度計画を策定していますが、具体的に何をどのように取り組むかということを示すという点では、まだ改善の余地はあります。計画の進捗管理ができるよう具体的な計画の策定が期待されます。

保護者のニーズにできることから応えています
 当園は0歳児から2歳児までの乳児園であるため、幼児期は別の保育園や幼稚園などに移行する必要があります。卒園後の進路を不安に思う保護者のため、今年度から、地域枠の卒園児に対して連携園を設定しています。円滑な移行となるよう、今回の取り組みは保護者にとっても安心できることが推察されます。また、「卒園後も園に遊びに来たい。」という保護者の声から、同窓会を実施しました。久しぶりの顔ぶれが集まり、皆で一緒にカレーを食べ、楽しいひと時となりました。保護者ニーズに出来ることから応えています。

3			カテゴリ-3	
経営における社会的責任				
サブカテゴリ-1(3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる				
評点(〇〇)				
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当	
サブカテゴリ-2(3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている				
評点(〇〇)				
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている				
評点(〇〇)				
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当	
サブカテゴリ-3(3-3)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる				
評点(〇〇)				
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当	
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている				
評点(〇〇〇)				
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当	
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当	
カテゴリ-3の講評				
役割に応じたルールを遵守することへの意識づけと実行がなされています				

「保育スタッフの心得チェックリスト」があり、入職時に説明するとともに、自己チェックも行っています。「より魅力的な保育士となる。」「安心して委ねられる存在になる。」「子育てを支える存在となる。」「地域社会の活性化に寄与する。」など、10項目が示されています。保育士として、また、社会人として求められる像が記されていることで自己の振り返りができることが推察されます。勤務規律は園長、主任・副主任、職員などそれぞれの役割に応じて作成しています。個々の役割に応じたルールを遵守することへの意識づけと実行がなされています。

学生のボランティア、アルバイトを積極的に受け入れています

当園では、保育科の学生をアルバイトとして採用しています。職員に対しては、学生さんがここで働きたいと思える集団になるという意識を持つことを伝えています。今年度は、大学生のアルバイトから新卒者として採用が決まりました。また、学生のボランティアや地方からの修学旅行を受け入れており、次世代の保育士を発掘・育成するという点でも有効な取り組みと推察されます。さらに、取材や視察等に数多く対応しており、シンボルとしての役割も実感しています。

地域の子育て家庭のニーズを把握しながら育児支援事業の充実に取り組んでいます

地域の子育て家庭への支援事業として一時保育を行っています。登録者数は100件を超えており、ニーズの高さがうかがえます。そのため、事前にメールで申し込んだ方を対象に園で抽選を行い、その順に電話して、利用日を決定しています。その他、年5回、育児支援事業として、「とちょう保育園に遊びに来ませんか？」と題して、多目的ホールの開放、育児相談、ふれあい給食を実施しています。6組を上限としていますが、キャンセル待ちも出ていて好評です。実施後はアンケートを行い、ニーズを把握しながら育児支援事業の充実に取り組んでいます。

カテゴリー4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

自分で事故を振り返り検証し、考えることにつながる事故報告書を作成しています

園内で発生した事故は、事故報告書にて検討、共有が行われています。発生場所、発生状況、ケガの部位・状態(図でも示している)、園での処置方法、保護者への連絡・謝罪方法などを記載しています。この事故報告書には「今日の事故など受診をどのように考えるか」、「どうすれば防げたか」、「どのようにしていくのか」を記載する欄があります。再発防止策を講じるにあたり、改めて自分で事故を振り返り検証し考えること、その考えを報告書を通して他の職員にも知っていただき今後活かしていけるよう注意喚起につながる取り組みと推察されます。

命に影響を及ぼすことを優先順位として事故予防に取り組んでいます

園内におけるリスクに対する対策は、あえて優先順位をつけるのではなく、命に影響を及ぼす順位で適宜判断していくこととしています。その中の一つとして、子どものアレルギー食への対応があります。その日にアレルギー対応として除去食がある時は、園長もしくは主任が放送で「〇〇組の〇〇さんは、〇〇の除去で〇〇が代替えとなっています。」と放送をかけ、栄養士が運び、職員に注意を促します。また、アレルギーチェックリストにてトリプルチェックを行います。医師である理事長発信のこの取り組みは子どもの誤食は「ゼロ」で成果が表れています。

理事長発信で「守秘義務とは？」職員に向けて注意喚起が行われています

当園では、登園後の発熱等の体調不良に対する取り組みとして、必要に応じてライブカメラで遠隔地にいる医師の判断を仰ぎ、常駐の看護師が保護者のお迎えまで対応する独自のサービスがあります。ライブカメラの使用については保護者から同意書を取り交わして行われています。当園は取材や見学も多いため、撮影や取材対応の可否についても同意を得ています。同意書にはSNS等への掲載に関する記載もあります。また、職員には守秘義務厳守の契約を求めると、個人情報の管理等について注意喚起が行われています。

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

12/12

評価項目1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に 取り組んでいる	評点(〇〇〇)
---	---------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ5の講評

職場全体、自分自身のことを保育理念に基づき振り返る、自己評価を実施しています
 「とちょう保育園 自己評価表」を用いて職員は、「子どもの保育に関すること」、「職員間の連携について」、三段階で自己評価を行っています。自己評価表では「園の保育理念を書いてください。」「職場の働きやすい点、改善したら働きやすくなる点」を記述式で記載する欄も設けています。目標は、前期、後期に分かれ、係や行事で自分の役割について、振り返りと課題などを記載しています。職場全体と自分自身のことを保育理念に基づき振り返ることができる効果的な取り組みと推察されます。

自己評価表の取り組みや研修計画で各階層に求められる職員像を明確にしています
 職員一人ひとりの育成についても、自己評価表を活用しています。当年度の目標、参加した研修、一年間の振り返り、次年度の課題点も記載しており、この自己評価表を基に園長との面談も行われています。この自己評価表は職員自らが作成し、自分たちでチェックしています。いずれは、クラス内で自己評価表をチェックし合える組織にしていきたいと園長は考えています。また、年間研修計画も階層別に、期待される組織上の役割、目的、研修内容、参加する職員が明記されており、各階層に求められる職員像を明確にして職員の成長を促しています。

自分の得意とするところの部に所属し、活動しています
 園内の様々な係分担は、「とちょう保育園 各 部活表」にまとめられています。クラブ活動を思わせるユニークなネーミングは、「植栽部」、「装飾部」、「裁縫部」、「音楽部」、「食育部」、「絵本部」、「玩具研究部」、「事故・かみつきひっかけ検討部」など様々で、一人で担当する「生き物係」もあります。自分の得意とするところの部に所属し、積極的に活動しています。職員自身が楽しみながら取り組むことで、お互いの良いところを認め合いながら職員の主体性を引き出しています。

カテゴリ7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1
 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「子どもを第一に、子ども一人ひとりを理解し、子どもにとって最もふさわしい生活の場で温かい保育を行う。」という、保育理念の実現に向け、より質の高い保育を目指すことを目標に掲げました。取り組みとして、職員同士で学び合うようにグループワーク学習を実施しました。普段は異なる保育チームに属する職員で、グループ編成(7人から8人程度)し、2種類の課題から1種類を選択(地域の子育て家庭への支援の充実に向けて/保育者の資質向上を図る)して、グループで課題に取り組みました。職員会議にてその課題の取り組み結果を共有し、取り組みを通じて得た学びを、今年度の指導計画等に反映させ、保育内容に取り入れています。

目標の設定と 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
----------------	---

取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>保育理念の実現に向けて取り組むことを目標と掲げての取り組みは、現場職員だけではなく、事務の職員も含めた園全体での取り組みです。「質の高い保育を提供するため努力を惜みず前向きに仕事に取り組むことができる人」を、法人が求めている職員像にも掲げており、そのための職員育成の場を職員同士で学び合うようにグループワーク学習を実施することで取り組みました。この取り組み結果は今年度の指導計画にもつながり、職員自己評価においても、職員間でのクラスの取り組み理解向上につながっていることがあがり、より質の高い保育を目指すことに邁進しています。</p>	
評価項目2	
<p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p>	
<p>保育指針の改定に伴い、保育課程を「全体的な計画」へと見直すことを重要課題として取り組みました。職員が分担し、勉強会や研修に参加し、その内容や得られた学びなどを職員会議等で報告しています。また、各クラスで全体的な計画について議論をし、その結果を職員会議で発表して全体に共有しました。新しい保育指針に基づき、自己の振り返りや今後の目標設定を行うなど、職員が主体的に計画策定に取り組んだことで、職員の意識の向上につながりました。策定した全体的な計画にもとづき、30年度は日々の保育に取り組んでいます。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	

保育所保育指針の改訂に伴い、保育理念、基本方針、新しい保育指針の実現に向けて、保育課程を「全体的な計画」へと見直しました。指針が変わったことについて職員は頭では理解していても、日々の保育にはつながっていないことが課題と園長は感じていました。取り組みとしては、職員が外部研修を受講して職員会議で共有し、クラス会議で話し合いを重ね、各クラスの全体的な計画を策定しました。職員が主体的に取り組みまとめた「全体的な計画」を基に行われている日々の保育は、子どもの心身の発達に役立ち、興味関心を持ち行えるものとして保護者からも高い評価をいただいています。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(0000)
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している ○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している ○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している ○非該当
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>様々な媒体を利用して園の情報が入手できるように配慮しています</p> <p>運営主体である尚徳のホームページや設置主体である事業団のホームページにもきちんと園の紹介・保育理念・方針目標などが掲載され、読み易く配置されています。パンフレットの「とちよう保育園のご案内」も同様に、園の概要や施設の特徴などが、写真を盛り込みながら読み易くやすく配置されています。掲載している項目の一つとして「保護者支援の取組」があります。園の特色として意識されているのが伝わります。パンフレットは区役所に紙媒体として置かれており、情報の提供をの一役を担っています。</p> <p>当園における「保護者支援」のあり方の実践を広く伝えようとしています</p> <p>とちよう保育園の特色である「保護者支援」が先駆的であるために、ホームページやブログ・紙媒体などの情報と共にメディアに取り上げられることも少なくありません。この点で運営主体である尚徳と事業主体の事業団はそのシンボリックな立場を認識しつつ、随時視察団体の受け入れをしています。国内にとどまらず、海外の団体も視察の受け入れもしており、当園の独自性のある情報を知ってもらうという意味でも、情報を他機関に提供し、対応しているといえます。</p> <p>利用希望者の対応の違いがないように職員間で申し合せができています</p> <p>利用希望者に対しても、伝え漏れがないように心がけながら伝えていきます。特に保育園における重要事項説明は、重要事項説明書配布の上、限られた職員（園長・主任）が保護者に対して説明することで内容や発言に差が出ないように配慮して行われています。また、問い合わせなどに対応できる事務員を常時配置して、様々な問い合わせに対応できるようにしています。</p>	
	サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評点(000)
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している ○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている ○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している ○非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

入園により生じる変化に対する不安の軽減になる細やかな対応をしています

入園に際しては、当園が提供する保育の取り組みについて十分に理解した上で入園して欲しいと、重要事項説明会を開催するとともに、面談時にも園の概要をお伝えしています。見学も随時受け入れており、また入園希望者を対象とした説明会も秋に開催しています。4月1日には入園説明会において「保育園のしおり」を使用して園の生活を説明しています。入園により生じる変化を丁寧に説明することで、保護者の不安が軽減されていると推察されます。

3歳児になり、転園する子どもに不安の軽減となるように園としてフォローしています

当園は2歳児までという事で、その後の保育所選びを不安に思う家庭もあります。そういった家庭には、個人面談や個別の対応を園が行うことで転園に関する家庭の不安を解消しながら、子どもたちを次の園に引き継ぐケースもありました。特に、発達気になる子どもや、不安の多い家庭への対応では、新しい園に出向き、子どもの様子を伝えてつなぐところまでするという、細やかな対応が行われています。この取り組みは、新しい環境に不安のある保護者の安心感につながっていると推察されます。

今年度は園主催の「同窓会」を行い、卒園児に対する継続的な対応も実施しています

0歳児から2歳児までが利用対象年齢となっている当園では、3歳児進級とともに園との関係が切れるのではなく、見守られていると感じられるように、卒園をした後もつながりを持ちながら子どもに催し物を働きかけていくことが行われています。卒園児を対象とした「同窓会」は「保護者支援」という大きな志のもとになされている細やかな配慮であり、何より保護者・子どもの安心を得られる支援になっていると推察されます。また、卒園後も育児相談などに親身になって対応していることが窺えます。

サブカテゴリー3

3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12/12
---	--------------	-------------------------------	--------------

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3の講評		
<p> 園長・主任が出席する月1回の会議で各クラスの月案、週案を決めています 指導計画については全体的な計画に照らし合わせながら話し合いをして決めています。各クラスの担任は保育の進め方について日々議論していますが月に1回の頻度で園長・主任も参加するクラス会議を行っています。一人ひとりの子どもの状態や集団での子どもの成長に応じ、保育を進めていく方向性や大切にしたいことをクラス担当と共有しながら計画を立てています。また、指導計画については毎月末に振り返りを行い、次月の計画に反映させています。また全体的な計画などの大きな枠組みについては毎年度、事業主体の事業団との契約時に見直しています。 </p> <p> 子ども一人ひとりを大切にする保育の実践として個々の子どもの理解をしています 日誌や児童票などを整備し、個々の子どもの理解に努めています。書類の構成の中で、個々の子どもの行動が分かり易く整理されています。子どもがどんな遊びに興味があって、どのように遊んだのかが分かり易く記述され、振り返る時に参考となることが推察されます。さらに環境構成などの図や記述がある記録になると、子ども全体の動きも把握できるものになりえるのではないかと推察されます。また要配慮児童には「個別指導計画及び子どもの状況」という書類を作成し経過と対応について記録しています。 </p> <p> 保育の記録については園長、主任が指導しています 保育の記録について、園では「次の保育に生かせる記録を…」と考えています。保育の記録についての課題を明確化し、記録に関する指導は園長もしくは主任が行っています。子どもに関する必要な情報を記載する仕組みを保育の質の向上に生かそうとする職場全体の動きが感じられます。記録を効率的に記載することだけに焦点をあてず、子どもの様子を確認できる記録となるよう継続した取り組みが期待されます。 </p>		

サブカテゴリ-5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の取り扱いについては同意書をもらい、各家庭に合わせた対応をしています</p> <p>個人情報保護については、入園時に家庭に向けて個人情報の取り扱いについて十分に説明を行いながら、子どものプライバシー保護を目的とした同意書に署名をしていただき、各家庭の個人情報の取り扱いを集約しています。また、必要に応じて家庭に再度確認を取りながら雑誌やテレビ取材などに対して、家庭の要望に合わせた慎重な対応しています。</p> <p>子どもの羞恥心に配慮した保育が行えるような環境設定も、園の中で工夫しています</p> <p>保育室は、エントランスからも見通しよく配置されています。見通しが良い分子どもの羞恥心に配慮した場所の確保の難しさがありますが、トイレ、汚物槽などの設置場所は一つ奥まったところに設置されており、子どもの羞恥心に配慮ができ、かつ、十分なスペースを確保しています。また保育する中でおむつ替えの場所をドアのデッド部分に設定し、見えない部分を生活の中で作りながら子どもの羞恥心に配慮した場所をきちんと提供していく工夫も見受けられます。</p> <p>子どもの課題や問題などタイムリーな話題を職員で話し合う環境が職場内にあります</p> <p>園自体の研修や、法人主催で行われる研修などに参加するほか、法人理事長からお題となる本の指定を受けて園内でグループに分かれて話し合いをして明日からの保育に生かす話し合いが定期的に持たれています。このことは、園内にある問題を取り上げていく受動的な発想ではなく、常に問題意識を持ちながら子どもへの関りや保護者支援をしていくという法人全体の姿勢が顕著に表れている部分と推察され、そういった環境が職場内にあることが保育の研鑽につながっていると言えます。</p>			
サブカテゴリ-6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

仕事の手引書は事務のエリアの一定の分かりやすい場所に保管しています

仕事の手引書(基準書・手順書・マニュアル)については、事務所の棚の取りやすい所においてあり、どの職員も見て確認できるような設置を心がけています。実際は、開いて確認するのが決まった職員になってしまう傾向があるので、業務についての質問や手引書に掲載しているようなことに関しては、誰かに聞くのではなく職員自身で手引書を見て調べる事を促したりすることもあり、活用することを促しています。

保護者からのアンケートや職員による自己評価で事業所業務の標準化に努めています

年に一度、年度末に保護者からアンケートを取り、その結果を集約してサービスそのものの見直しや、職員と保護者との関わり、保育に関わる計画の見直しに役立てています。職員による自己評価は前期と後期の年2回実施しています。主任に提出をしてフィードバックを受けられる機能が職場内にあります。また、その自己評価の中で業務提案欄を設け、職員の声を集約し保育の見直しに反映させています。このことは事業所業務の標準化の一助となっていると推察されます。また自己評価改善に関する項目の見直しも職員からの提案をいれて行われています。

保育の一貫性が保たれるように園長・主任が一体となり職員教育に取り組んでいます

提供しているサービスの中で大切にしている事として、理念である「子どもを第一に、子ども一人ひとりを理解し、子どもにとって最もふさわしい生活の場で温かい保育を行う」という事を大切に考え実践しています。またそのことを具体的にする保育者の動きとして「声の大きさに配慮する」「子どもに強制しない」「脅し言葉を使わない」「話し方に配慮する」「かけひきはしない」等の事を園長と主任が園が開所された2年前から継続して職員に伝えていきます。この取り組みはこれからも変わらないものとして継続していくことが期待されます。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>月の個別指導計画や日誌・連絡帳等から児の姿を把握し日々の保育に繋げています</p> <p>年間・月・週単位の指導計画を立て、クラス単位の目標と個別の指導計画は子どもの姿ねらい(養護・教育)・配慮・振り返りの項目で月単位の計画を立てています。保育日誌も個別に子どもの姿・保育士の振り返り・記録者の項目で記録され、連動して捉え日々の保育に繋がっています。保育理念に「一人ひとりに優しく丁寧な保育」を掲げており、話し方や無理やり食事をさせない・寝かさなない等、児の気持ちを尊重し保育者間で共通理解し実践しています。連絡帳を通して保護者との会話を大切にしており、家庭での様子を把握し児に応じた保育を構築しています。</p> <p>子どもが主体的にいろいろな事に興味を持ち関わりが出来る様な環境作りをしています</p> <p>都庁内に保育園があり、高層ビルに囲まれており他園とは環境が異なっていますが、警備員や散歩で出会う地域の人と挨拶を交わしたりと日常生活の中での関わりを大切にしています。中央公園では、自然物に触れたり季節を体感しかけっこ・ボール遊び等体を動かし五感を養っており恵まれた環境があり園外活動も充実しています。園内は多摩産の木を使用し温もりがあります。クラスを小グループに分け落ち着いて過ごせる様配慮し、室内では主体的に遊べるようコーナーの設定をしています。ゆったりした保育を実践しており保護者の満足度は非常に高いです。</p> <p>異年齢交流や文化の違い等、お互いを認め合い尊重する心が育つよう援助しています</p> <p>乳児園ですが、全保育室に面した多目的ホールがあるのでホールで異年齢交流がしやすく、2歳児のリズムや体操遊びに1歳児が参加したり、運動遊び等をやりたい子が一緒に遊べるよう保育士が声を掛け合うなど、異年齢交流を図っています。子どもたちも2歳児の真似をしたり、小さいクラスの児に声をかけたりと家庭的な雰囲気大切にしています。外国籍の児も多くいますが、言葉の支障はなく乳児の為、子ども同士が自然に受け入れており、お互いに尊重する心を育てています。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時は、連絡帳を基に目視で受け入れ、子どもに応じた午睡の対応をしています

登園時は、連絡帳を基に保護者から家庭での様子、体調面や気になったこと等を聞き、体調等のチェックを目視と合わせて行い、受け入れており、保護者からの伝言は朝夕伝達簿の受け入れ時の特記事項に記録化し担当が確認しています。食事が済んだあとは、排泄・おむつ替えをし午睡に入る子どもも、ホールで過ごす子どももあり、子どものペースに応じた対応をしています。

保護者会や個人面談・連絡帳で生活習慣の大切さを啓発しています

保護者会では、クラスの発達の特徴や園生活の様子を記載した資料を配布し、また、日頃の子どもの様子を保育士が撮影したビデオ映像を上映しています。個人面談では、家庭での様子を聞き離乳食や気になること等の相談を受けており24時間のスパンで園と「とも育て」をしている事を伝えています。保護者支援にも力を入れており、ご希望の家庭におむつや朝食の提供を行っています。

降園時はホールを開放し親子でリラックスする時間があり、子どもの様子を伝えています

お迎え時は、子どもの園での様子をできるだけ詳しく保護者に口頭で伝えています。保育室へはホールを通るので、毎日降園時にホールを開放し絵本の貸し出しもしています。親子はカウンターに置いてある木製の遊具で遊んだりフットビジョンで放映されている日頃の子どもの様子を、給食のメニューを親子で見て様子を子どもに聞いたり、絵本をみたりとゆったり過ごすことができます。保護者がホッとできる場として、仕事から家庭への切り替えができ、良い取り組みとして評価できます。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

室内はコーナーの設定で、自主的に好きな遊びができる様、環境構成をしています

各クラスは小グループで遊べるよう保育をしています。1・2歳児の保育室内はワンフロアを仕切り、ままごと・絵本・ブロック・木製パズル・汽車遊び等のコーナーを設定し、子ども達が好きな遊びを選んで遊べるよう設定しています。低い棚には年齢に応じた玩具を多めに用意し、シリコンのカゴに種別に入れて棚に写真を貼り片付けやすい工夫や、誤飲を防ぐ為、4センチ以上の玩具を選定しており、安全面の配慮があります。保育士の固定概念にとらわれず子どもが遊びの中で発見する事を大事にしています。

領域に応じた指導計画でクラス活動を実践し、育ちの援助をしています

月指導計画は、月の目標・子どもの姿・養護・教育「領域」食育・健康・安全の項目で作成し、クラスに応じた活動を実践しています。室内環境はコーナーを設定しており、好きな遊びをしたり、季節の造形活動では制作物を飾り月の終わりに持ち帰っています。絵本は冊数も多く、家庭への貸し出しも行っています。読み聞かせや季節の歌・手遊び・リズム・ウレタンの巧技台での運動遊び等を実施しており、夏の水遊びは、玄関スペースにベビーバス・たらいを置きバケツ等での遊びを工夫しています。子どもの成長に合わせた活動を展開しています。

近隣には広い公園があり、季節を体感できる環境を活かし五感を育てています

園の前には、すり鉢状の円形広場がありますが、石畳みで傾斜があるため利用はできません。雨の日以外は近隣の中央公園に行き、落ち葉・虫探し・桜の花びら・どんぐり拾いと季節を体感し、散歩やかけっこ・鬼ごっこ体を使って遊びます。歩く距離も乳児に適しており、0歳児は散歩カーに乗って出かけています。散歩のルートは決まっており、9時半過ぎから食事前までたっぷり戸外活動をしています。中央公園は広く、目的に応じた活動をしており、クラスだよりも1歳児は戸外遊びでの発見で、落ち葉を踏む音の様子を伝えています。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

誕生会や季節の行事を通して関心を引き出し伝承文化を体験しています

誕生会は子どもの誕生日にクラスで、作り物のケーキ、カードの読み上げ、皆の合唱でお祝いします。様子は写真とコメントをつけホールの掲示板上に掲示して保護者にも情報提供しています。子どもの日・七夕ではブラックライトで七夕の話をしたり、正月・節分・ひな祭り等季節の行事では、伝統文化に興味を持てる雰囲気を楽しんでいます。季節の行事に合わせて、鯉のぼりや笹飾り等の装飾や、クリスマスにはクラスで造形活動をし装飾として壁に展示しています。

親子ふれあい会や、2歳児クラスはお別れ会で歌や劇ごっこをみんなで楽しんでいます

10月実施の親子ふれあい会は土曜日に、親子で遊ぶ中で子どもの育ちを確認してもらいに行っており、両親・祖父母も参加しています。お別れ会は3月の平日の夕方に設定し、2歳児の保護者が参加して、子どもが日ごろ遊んでいる手遊びや劇ごっこを披露しています。両親の参加もあり、子ども達は保護者に見てもらい嬉しさを体験しています。乳児園なので運動会は実施していませんが、年齢に合わせた保育の中で、ごっこ遊びから劇ごっこに繋げており、子ども主体の保育を実践しています。

年間行事予定表やクラスだより等・掲示物で保護者の理解・協力を得ています

年度初めに年間行事予定表を配布し保護者にお知らせしています。毎月配布のクラスだよりでは、季節の行事をクラスで祝う様子等を記載し、写真も載せて保護者に情報提供をしています。保育参観・参加・保護者会・お別れ会・茶話会等の実施後にアンケートを取り、保護者の意向や感想を把握して、会議の中で確認し次回に繋げています。また、年度末には、行事の項目でアンケートを取っています。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

18時以降の延長保育中は合同で過ごしています

18時以降の延長保育では、合同で過ごします。延長保育を担当する保育士を固定化し子どもたちが安定して過ごせる配慮をしています。延長保育日誌があり、合同保育では異年齢の関わりが見られ、ままごと遊びでの会話や年上の子の遊びを真似したり、年下の子へやさしく接したりする姿が見られています。延長保育の中に食物アレルギーの子どもがいる場合は誤食のないよう、調理した人・運んだ人を保育士がチェックしています。

22時までの保育なので、家庭的な雰囲気的大事にしています

7時から22までと開園時間の長い当園では、子どもが安心して過ごせるように開園時と延長保育では出来るだけ職員を固定し、人的環境を整えて保育を行っています。1歳児から利用できる延長保育では、子どもの様子に合わせて、好きな遊具で遊ぶ、絵本を読んでもらう等、子どもが寛いでゆったりと過ごせるように配慮しています。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

食事では子どもに合わせた椅子を使用し、ゆったりした雰囲気で食事をしています

食事前に着替えをし食後に午睡に入れる流れで生活しています。園児の木製椅子は成長に合わせてサイズを調整し、子どもに合わせた椅子を使用しています。また背もたれも手作りのマットを使用し安定して食事ができる配慮があります。少人数のメンバーで席も固定して食事しており、園で準備したエプロン・おしぼりを使用しています。年度初めは個々の状況に合わせて少人数で食事をしていましたが、後期はほぼ皆で食事をしており、無理に食べさせず子どもの意思を尊重しています。ゆったりした雰囲気での食事に配慮しています。

食物アレルギーの子どもには誤食のないよう配慮しています

食物アレルギーの子どもは医師の指示書に基づき除去しており、アレルギー対応の献立表を配布し保護者と確認しています。誤食のないよう、名前付きの専用トレーを使用し、食器にも名前を書いています。除去のある日は、事務所に声掛けし放送を入れて栄養士が直接トレーを運んで別テーブルで食事をしています。3重のチェックを入れ、誤食のないよう、保育士が側につき援助しています。放送にて除去があることを職員に周知する方法は、法人理事長から誤食予防の啓発という発案からの取り組みです。

食事の様子をフォトビジョンで流し、保護者に食育の様子を伝えています

食事の見本は展示する方法での情報提供ではなく、事務所のカウンターにあるフォトビジョンで毎日の食事の画像を表示して保護者に伝えています。お迎え時に子どもと一緒に見ることができ、感想を伝えたりという親子の会話があります。献立・食材の産地は表示にて知らせています。食育の取り組みでは、施設の制限上、栽培が出来ない為、2歳児は季節の野菜を実際に目で見える機会も兼ねて、トウモロコシ・そら豆の皮むきなどを体験しています。2歳児のクッキングについては、模索中のようですが、楽しく落ち着いて食べることを大切にしています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

健康・安全面では、場面に応じ指導し予防・防止できるよう援助しています

保健年間計画を作成し、月の目標に沿って指導しています。乳児園なので、言葉ではなく視覚で分かりやすくエプロンを使った劇スタイルで健康・安全面のお話を伝えています。手洗いの指導等は習慣化しており、外出後の手洗いや、うがい(2歳児)を行っています。登園時は保護者と一緒の手洗いを励行しています。衣服の調節やトイレの使い方等は言葉かけや絵本等で知らせています。安全面では室内の棚のふちに安全ガードをしています。室内でも運動遊びを行うほか、徒歩での散歩などを通して、敏捷性や体力がつくよう実践しています。

体調不良児への対応はライブカメラで医師と連携を図っています

事務室内に看護スペースがあり、登園後の体調不良の子どもは個別に過ごせる環境を整えています。体調不良の際は状態を保護者に連絡しますが、保護者が迎えに来るまで常駐の看護師が対応します。状態に応じ、ライブカメラで尚徳の理事長でもある園医からアドバイスをもらい看護師が保育しています。医師からの指示ということで、保護者に的確な情報を伝えられる強みがあります。また、近隣の大学病院に医療搬送ができる協定も締結しています。持病を持つ子どもと対応に関する一覧表があり、子どもに応じた対応や連絡ができるよう仕組みが整っています。

SIDS・感染症・保健だより等の情報提供で、保護者に予防の啓発をしています

入園説明会や保護者会では、SIDS予防で家庭でもうつぶせ寝をさせないように話しており、午睡用の敷布団はSIDS対策用を使用しています。午睡チェックは、0歳児は5分毎・1・2歳児は10分毎に担当がチェックし、看護師も巡回してチェックしています。SIDS予防の啓発としてポスターも掲示しています。感染症については、赤字にて感染症名・日時・発症クラス・人数等を掲示し情報提供しています。また、毎月配布の保健だよりでも季節で流行る感染症や他区の感染症情報等を掲載し、予防の啓発をしています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

個々の保護者のニーズに合わせた園独自の支援を行っています

園の特徴として、個々の保護者ニーズに合わせた支援を実施しており、朝食やおむつの提供・洋服レンタル・寝具リースを実施しています。朝食は事前予約制で親子で食事が出来ます。利用者は日によって違いますが、1日4・5組位です。洋服レンタルは気候に合わせたものを数種類用意し、子どもが自分で選べるよう配慮しています。全園児用に散歩時にはく靴下・食事用エプロン・おしぼり等は園で用意されており、保護者の負担を軽減し、その分子どもとの時間を大切にしたいと、働く保護者に寄り添った支援を実施しています。

保護者会・お楽しみ会・茶話会等で、保護者間の交流を図っています

6月実施の保護者会はクラス別でレジュメを配布し、栄養士・看護師からの話・おやつを試食・グループ懇談の後、ホールでお楽しみ会を行い、親子で大型絵本を見たり、ふれあい遊びを実施しました。乳児園なので運動会は実施していませんが、12月の茶話会はクラス別で保護者間の親睦も兼ねています。また毎日のお迎え時にはホールを開放して親子で絵本を見たり、木製の玩具で遊べる空間を設定しており、親子で交流が図れるよう工夫が見られ良い取り組みです。

保護者会・保育参観・参加で保護者と一緒に子育てを行っています

保護者会はクラス別で実施しており、一時保育室にスクリーンを設置して園での生活の撮影映像を見えています。0歳児は離乳食の悩みが多く、園での様子を見たいとの要望があり、参観を行うとともに、保護者に離乳食の体験をしてもらっています。12月の茶話会もクラス別で保育の様子を放映した後、「子育てにおける最近の悩み」のテーマでグループ懇談にて育児について情報交換をしました。その後、お楽しみ会を実施し親子で歌や手遊び・大型絵本を見る等ふれあい遊びをしており参加率も高く、園の取り組みを丁寧に伝えています。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>一時保育での交流や消防署・近隣の公園や都庁等を活用しています</p> <p>一時保育は6名の定員に約100名が登録しており、都内在住・在勤の様々な方がご利用になれます。専用の保育室の他、それぞれの年齢のクラスと一緒に保育をすることもあります。近隣の消防署見学では昨年は車に乗せてもらったり、早着替えを見ており、車が好きな子ども達には良い体験となりました。今年度も2歳児は都庁の展望台見学をする予定です。都庁の警備員とは散歩時など挨拶を交わし子ども達に声をかけてくれる良い関係性があります。戸外活動はルートを決めており、散歩中に地域住民と挨拶をする等日々の生活での関わりを大切にしています。</p> <p>育児支援に参加の親子やボランティアの学生と交流があります</p> <p>育児支援は年5回事前予約制で実施しており、定員6組の親子が参加しています。テーマを決めホールを開放し、パネルを使い絵に合わせて歌ったり、冬の病気について看護師から話を聞いたりしています。また、給食の試食とメニューの配布を行っているほか、毎回アンケートを実施しています。育児支援は、リピーターもいてニーズが高いので、定員を増やし継続されるとよいでしょう。一方、都庁内という立地のため地域の行事への関わりは少ない様ですが、ボランティアの高校生の受け入れを行い交流する等、子どもの生活の幅を広げる取組を実施しています。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	保護者に寄り添い安心して子育て・仕事ができる様、保護者支援に特化しています	
内容①	<p>「育児と仕事の両立支援」を掲げ、保護者支援の取り組みとして、延長保育の当日受付や親子に対する朝食提供を行っています。登園後の体調不良児への対応として必要に応じライブカメラで医師が状態を確認して看護師に助言して、保護者に状況を伝えます。また、「手ぶらで登園」として、紙おむつの提供・洋服レンタル・洗濯・寝具リースを実施しており、すべて希望制で有料ではありますが、育児期にある保護者が仕事に専念できるよう、園独自の取り組みで個々の保護者のニーズと合わせ保育を実践しています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル②	自分の得意とするところの部に所属して活動しています	
内容②	<p>園内の様々な係分担は、「とちよう保育園 各 部活表」にまとめられています。クラブ活動を思わせるユニークなネーミングは、「植栽部」、「装飾部」、「裁縫部」、「音楽部」、「食育部」、「絵本部」、「玩具研究部」、「事故・かみつきひっかけ検討部」など様々で、一人で担当する「生き物係」もあります。ネーミングも職員が考え、自分の得意とするところの部に所属して活動しています。職員自身が楽しみながら取り組むことで、お互いの良いところを認め合いながら職員の主体性を引き出しています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	自分で事故を振り返り検証し、考えることにつながる事故報告書を作成しています	
内容③	<p>園内で発生した事故は、事故報告書にて検討、共有が行われています。発生場所、発生状況、ケガの部位・状態（図でも示している）、園での処置方法、保護者への連絡などを記載しています。この事故報告書には「今日の事故など受診をどのように考えるか」、「どうすれば防げたか」、「どのようにしていくのか」を記載する欄があります。再発防止策を講じるにあたり、改めて自分で事故を振り返り検証し考えること、その考えを報告書を通して他の職員とも共有し今後に活かしていけるよう注意喚起につながる取り組みと推察されます。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育士の固定概念に捉われず、子どもが遊びの中で発見する事を大事にした保育を展開しています
	内容	1・2歳児の保育室内はワンフロアを仕切り、ままごと・絵本・ブロック・木製パズル・汽車遊び等のコーナーを設定し、子ども達が好きな遊びを選び遊べるよう設定しています。また、低い棚には年齢に応じた玩具を多めに用意し、シリコンのカゴに種別に入れて棚に写真を貼り、片付けやすい工夫や、誤飲を防ぐ為、4センチ以上の玩具を選定しており安全面の配慮があります。天気の良い日は中央公園まで出かけ、身体を動かし季節を感じて遊んでいきます。保育士の固定概念に捉われず、子どもが遊びの中で発見する事を大事にした保育を展開しています。
2	タイトル	降園時は、貸し出絵本や玩具で遊んだり、フォトビジョンで園での生活を放映し、親子でほっと寛げる場を提供しています
	内容	お迎え時に親子でほっと寛げる様、玄関からすぐの多目的ホールを開放しています。絵本ラックを設置し、絵本の貸し出しをしており、冊数も多く親子で選んで楽しんでます。親子で木の玩具で遊んだり、フォトビジョンで保育や食事の様子を観たりしながら20分～30分ホールで過ごしてから降園する人もいます。仕事を終え、お迎え時に一息つき気持ちの切り替えが出来る良い取り組みとして評価できます。ホールと事務室はオープンで、事務室がカウンター形式で見通せるので、事務室内にいる園長・主任と会話もでき、温かい雰囲気大切にしています。
3	タイトル	保育士として、社会人としての行動指針を示し、様々な角度から職員自身が気づきを得ながら成長できるよう仕組みを整えています
	内容	子どもとの接し方は、「駆け引きをしない、強制しない、おどさない」こと、子どもの気持ちを尊重した保育を行うことを職員全体で共有し、「保育スタッフの心得チェックリスト」では「より魅力的な保育士となる。」など、10項目にて、保育士として、社会人として求められる像を明確にしています。また、「とちよう保育園 自己評価表」では、保育に関する事、職場環境に関する事などについて自己評価を行い、それに伴う目標を定めて取り組んでいます。様々な角度から職員自身が気づきを得ながら成長できるよう仕組みを整えています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業計画の進捗管理ができるよう具体性を持たせた計画の策定が期待されます
	内容	事業主体の東京都、設置主体の事業団、運営主体の社会福祉法人の三者が緊密に連携し、東京都の待機児童に対する対策のシムボルの事業としての使命を果たすべく取り組んでいます。中長期計画から単年度計画も策定していますが、取り組むべき目標に対して、何をどのように取り組むかということ具体的に示すという点では、まだ改善の余地はあります。事業計画の進捗管理ができるよう具体性を持たせた計画の策定が期待されます。
2	タイトル	学生ボランティアやアルバイト、視察や取材に訪れた方々に映る、当園に対する気づきを収集する方法を検討することも期待されます
	内容	当園では保育科の学生をアルバイトとして採用しています。また、学生のボランティアやアルバイトも受け入れており、今年度は大学生アルバイトの正規職員採用が決まり、次世代の保育士を発掘・育成するという点でも有効な取り組みと推察されます。今後さらなる取り組みとして、第三者の目から見た当園の保育について、職員の対応や子どものことで気が付いたことなど、意見をいただくことも有効と推察されます。多くの視察や取材がある当園だからこそ、様々な眼に映った園の印象などを情報収集する方法を検討することも期待されます。
3	タイトル	災害時における職員の動き、状況や保護者に対する対応など、園独自の事業継続計画は必要と推察されます
	内容	万が一の災害に備え、子どもの安全確保ができるよう避難訓練などを行っています。災害時の対応については、設置主体の事業団が策定している事業継続計画(BCP)に従い行動することとしています。しかしながら、実際の園の現状を把握した中で、災害時における職員の動き、状況や保護者に対する対応など、園独自の事業継続計画は必要と推察されます。必要事項を洗い出し、職員への意識づけと周知を促す意味でも職員全体で検討し作成することが期待されます。